

令和3年 10月の保育園だより



坂みみょう保育園



ニュース『キンカチョウ』の名前決まったよ！！

保護者さんがお知り合いから譲り受けられたキンカチョウの雛を保育園にプレゼントとしていただきました。

漢字では錦花鳥とか錦華鳥と書くそうですが、ズメ目カエデチョウ科に分類され文鳥の仲間だということです。「プープー」というように聞こえてくるよう鳴き声や口ばしのオレンジ色に特徴があります。

雄雌の見分けがつきにくかったのですが、年長ふじ組の子ども達がミーティングの中で、二羽のキンカチョウに名前をつけてくれました。「ありがとう！」

事務室前に鳥かごを置いておりますので、登降園時に親子で声をかけながらご覧になってください。

日中めっちゃくちゃ仲良しで元気な二羽は、夜になると巢の中で寄り添うようにしています。安心感に包まれた気持ちになるのでしょうか。



ちっち（頭の上が灰色）

いーぐる（全体的に白い）

※二羽とも羽の色が少しずつ変化しています。その変化を観察するのも楽しいですね。

『教えてくれるより知りたいんだ！』

～学びたいの思いに寄り添うとは～

子ども達は保育園で朝から夜までの長い時間を過ごす中で、あそび、学び、食べて、眠るなど、たくさんの活動を行っています。

楽しいと思えるあそびがないとおなかも空かないし、十分に眠ることもできません。

先月保育園にプレゼントしていただいた「キンカチョウ」も狭い鳥かごの中ではありますが、新しい環境の中で、よく鳴き、よく食べ、二羽で戯れている姿を見ます。

「いーぐる」は、丸形ブランコにも突然乗るようになり、得意そうにしています。「ちっち」が乗っている姿は、見たことがないのですが、どんな気持ちで見ているのか、興味ないのか、怖いのか、仲良しの「いーぐる」の姿を見ながら「やってみてみたい！」と感じているのかなど思いを巡らせていると、欲が出てきて二羽が仲良く丸形ブランコに乗っている姿を想像している自分もいます。

子ども達の成長も、ともすれば大人がよしとする行動やあそびを大人の価値観で判断し、模倣してほしいとか、身につけてほしいなどと、期待してしまっているのが現状ではないかと思えます。

期待という言葉は、期を待つと書きますが、大人は待てないで口を出してしまったり、つい手を出してしまうことも子育ての中においては多いことでしょう。

先月グループ園の先生方が園を訪問され、保育を参観された時のことです。園庭では異年齢が交流しながら遊んでいた時間です。

教材として色水や石鹸の泡などが準備されていたところに、霧吹き用の容器が置いてありました。2歳児の2名の女児が、ピンクの色水の入った霧吹き容器を両手で押すと、噴射することに気づきました。鮮やかなピンク色の輪が広がり、

「ワッ♡」と顔を見合わせながら二人はニンマリ♡次は障子紙スペースを見つけそこに噴射。またまた二人で顔を見せニンマリ♡面白くなった二人は、グループ園の先生方の白いポロシャツにも噴射。思わず先生方も「キヤー！！」という叫び声をあげられました。

担任達の「ごめんなさい！」「すみません！」の声が園庭には響いていましたが、二人は一時間近く、色水の入った霧吹き容器を巧みに使いこなしながら、いろいろな場所や物に噴射し、色の出具合や変化を楽しみながら遊んでいました。2歳児さんの「知りたい！」という思いは、あそびを通して学んでいる姿でした。

担任が「そろそろ給食だからお片づけにしようかなあ。」と声をかけると十分あそんだと思える二人の女児はなんと、プランターに植えてある草花にも、ピンク色の水を噴射し始めたのです。

「お花にはきれいなお水あげるんだよ！（水道水の意味）」と担任が伝えると、「♪知ってるよ♡」と言わんばかりに「きれいなお水だよ♡?」（ピンクのきれいな色の水という意味）傍にいた担任達も私も顔を見合わせて笑ってしまいました。その後二人は満足そうにお片づけをしていました。

乳幼児期の学ぶとは、子ども達の「知る」というワクワク感に、一緒になって感じ合える保育を大切にすることなのだと思えて確認した出来事でした。

今月は、あそびの中で、素材や道具に出会い、何かを始めたなら、思いもかけず面白いことになりそうな造形活動を体験しながら、イメージを共有したり、試行錯誤しながら、「知ってるよ！」「もっと知りたい！」を満足できるような環境を整え、大人の思うイメージを押し付けるのではなく、新たな発見を子ども達とともに、楽しみたいと思っています。月末開催予定の『アートな生活とあそび展』もお楽しみにしてくださいね。（園長）

幼児クラス保育参観・家庭教育学級

緊急事態宣言中ということもあり、延期になっていた、保育参観、家庭教育学級講演会を開催し、自主性を軸に、現在大切にしなければならぬ親や集団の役割について、ともに考える機会になればと思っております。事前アンケートにおいて保護者の皆様からの質問にも応えていただくようお願いをしております。

なお、三密を避けるため、保護者の皆様の参加は一名とさせていただきますが、幼児クラスにきょうだいがおられる場合は、それぞれの子どもさんに一名です。（小学生のご来園はご遠慮ください。）

健康観察表には必ず家族の健康状態も記載をしていただき、来園時には子ども達とともに、保護者の皆様の検温もお願いすることになりますので、ご協力をお願いいたします。体調の悪い方や県をまたぐお仕事などを近々でされた保護者の皆様は申し訳ございませんがご遠慮ください。

日時：10月9日（土） 午前9時～11時40分
保育参観 午前9時～10時20分
（各クラス・園庭）

家庭教育学級 講演会
午前10時30分～11時40分
演題：『自主性を育てる
～親の役割・集団の役割～』

講師：聖愛幼稚園
せいあい幼児教育研究所
井原 忠郷 先生

※送迎以外の駐車場の利用はできません。
※託児は、事前申し込みの済んでいる方以外は利用できません。乳児クラスにきょうだいのいる方は、保育を致しますので担任にお知らせください。

アートな生活とあそび展（全児）

日時：10月30日（土）1部 9時～10時15分
2部 10時30分～11時45分

造形あそびに焦点を当て、展示を観たり親子で一緒にあそんだりできる行事です。あそびの意味を考えた、どんな力が育っているのかを感じていただける時間になればと思っています。後日コロナ禍を考慮し、参加希望調査（1部、2部選択）をいたします。

保護者会さくらんぼ会主催の

行事について

9/8（水）に予定し延期になっておりました、中埜房江先生の平和紙芝居の会は、10月5日（火）に開催いたします。おんぷらんとさんの大道芸観賞は、調整中です。